

授業科目	経済学入門					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	前田 淳						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学の2つの柱は、ミクロ経済学とマクロ経済学です。 ・前半は、ミクロ経済学の内容を中心に、講義します。 ・後半では、マクロ経済学の分野である、GDPや雇用や財政について、説明します。 ・以上をとおして、世の中を観察する力を身につけ、私達の生活とかかわる経済現象を理解することを本講義の目標とします。 						
授業形態	対面授業			授業方法	・Google の Forms を用いて理解度を把握します。		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 基礎的な経済用語を説明できる。 2. 様々な経済現象がなぜ起きるのかを説明できる。 3. 様々な経済現象が有機的に関連していることを説明できる。 4. 経済学的視点を持って、経済記事を読み、人に説明することができる。
理想的レベル	自分とて興味がある対象を見つけ、そのデータの動きを経済学の視点から、説明することができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト	0	
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	NU10408J WE10408J NT10408J EN10408J TO10408J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

・事前に教材（パワーポイントのスライド）を読んで授業に臨む。 ・教材を再読しながら、提示された課題やワークを解いて、復習する。	4
--	---

授業計画

第1回	テーマ：イントロダクションと経済学の全体像 内容：経済学の構造、経済学と経済現象
第2回	テーマ：比較優位と機会費用 内容：分業が行われる理由、および、分業の結果として交換と市場と価格が生まれることを説明する。

第 3 回	テーマ：需要曲線と供給曲線 内容：様々な形状の需要曲線・供給曲線を説明し、無差別曲線と予算制約式にも言及する。
第 4 回	テーマ：弾力性 内容：価格と所得に対する需要の弾力性を説明する。
第 5 回	テーマ：裁定取引と一物一価の法則 内容：19 世紀後半の貨幣制度の混乱の事例を紹介し、裁定取引を理解する。
第 6 回	テーマ：限界費用曲線と限界評価曲線 内容：個人の需要関数と社会的需要関数を説明する。
第 7 回	テーマ：消費者余剰と生産者余剰 内容：自由貿易と管理貿易での余剰の違いを説明する。
第 8 回	テーマ：税の帰着 内容：需要の価格弾力性によって、税負担が違うことを説明する。
第 9 回	テーマ：市場の失敗 (1) 内容：情報の非対称性と外部性を説明する。
第 10 回	テーマ：市場の失敗 (2) 内容：自然独占と公共財を説明する。
第 11 回	テーマ：企業の生産行動 内容：利潤最大化の原則から、最適な生産量がどう決まるかを説明する。
第 12 回	テーマ：国内総生産と国民所得 内容：GDP の定義、集計方法、三面等価の原則を説明する。
第 13 回	テーマ：フィリップス曲線 内容：労働・失業と物価の関係を説明する。
第 14 回	テーマ：国家財政 内容：日本政府の財政状況とプライマリーバランスを説明する。
第 15 回	テーマ：まとめと総復習 内容：期末試験の過去問を提示して、正解・解法を説明する。
テキスト	なし。 ※教材をインターネット上にアップロードするので、それを各自で閲覧ないしダウンロードすること。詳細は最初の授業で説明します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日本経済新聞
課題に対するフィードバックの方法	・正解ないし模範的な解答例を示して、内容を解説します。
学生へのメッセージ・コメント	・経済学は、皆さんの身近な問題を考えるのに役立ちますので、興味がある人は積極的に受講してください。